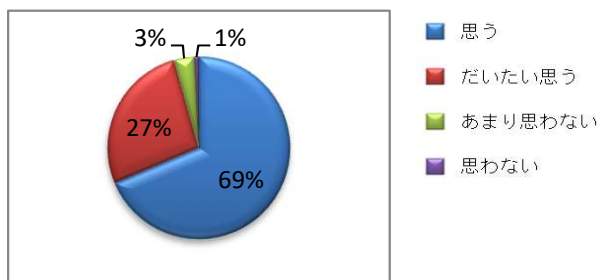


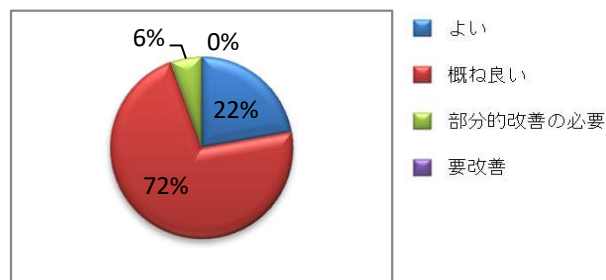
# R03 学校自己評価 中間報告(1学期・全校児童・職員)

## 1 学校満足度

(1) 学校は楽しいですか。(児童)



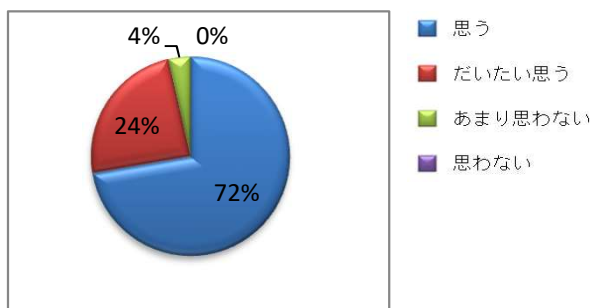
(1) 子どもたちが楽しく学校生活を送れるよう  
様々な面で配慮をしていますか。(職員)



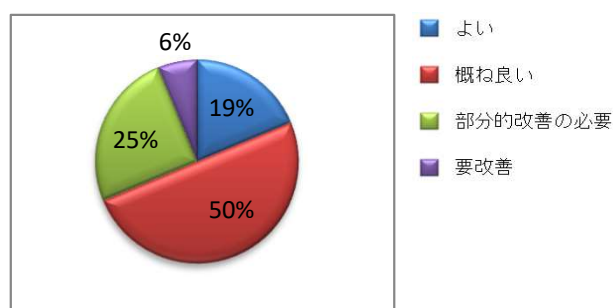
### 【考察】

昨年度から徐々にではあるが、「楽しい」という児童の割合が高くなっている。その反面、職員の意識は、「配慮している」が減少し、「概ね配慮している」「部分的改善が必要」が増加している。「楽しい学校のためにまだできることがある」という意識の変革がもたれない。

(2) 先生は勉強を分かりやすく教えてくれますか。  
(児童)



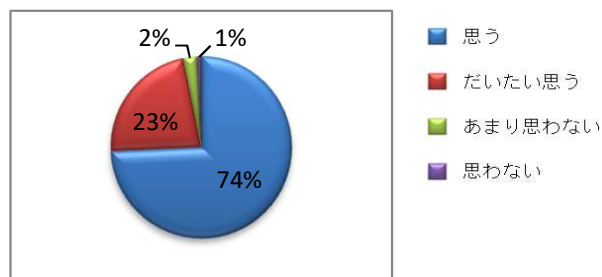
(2) めあてをはっきりと提示し、友だち同士の関わり合いを  
工夫し、まとめの時間をとる努力をしていますか。(職員)



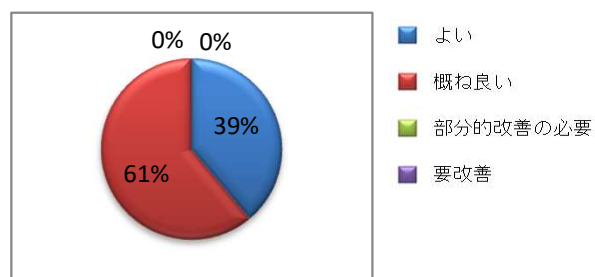
### 【考察】

児童の意識は昨年度と大きな変化はみられない。職員は、昨年度の「概ねよい」が、「よい」と「要改善」にそれぞれシフトしている形である。引き続き、「あまり思わない」と回答した子たちへの指導や支援のありかたの改善が課題か。

(3) 先生は、困った時に相談に乗ってくれますか。  
(児童)



(3) 日頃から子どもたちに声をかけたり、保護者との連絡をこまめにし、  
子どもや保護者に寄り添いながら相談しやすくしていますか。(職員)

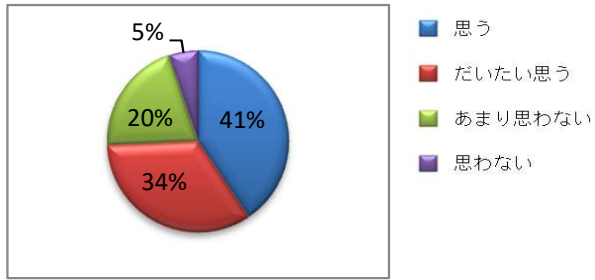


### 【考察】

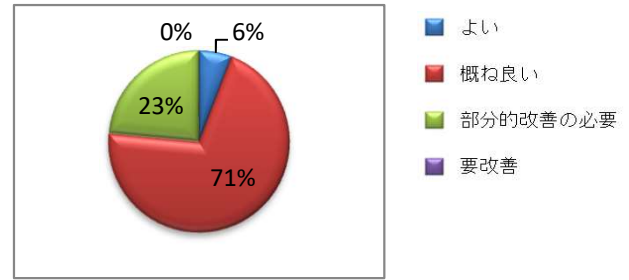
児童は「相談に乗ってくれる」と感じる子が少しずつ増えている反面で、昨年度0だった「思わない」と回答する子が今回はいた。職員の回答は昨年度15%前後いた「部分的改善が必要」が0になり、すべて「よい」「概ね良い」という結果だった。

## 2 学 習

(1) 学習に進んで取り組み、自分の考えを友だちに伝えていますか。(児童)



(1) 子どもたちが学習に意欲的に取り組み自分の考えを持ち、その考えを伝え合う場を設定していますか。(職員)

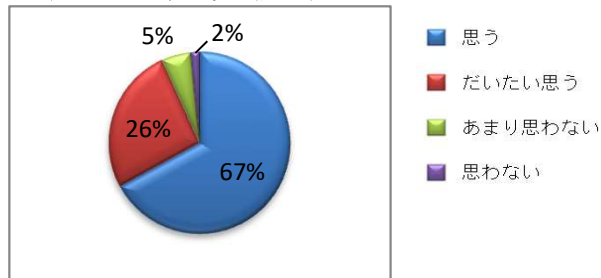


### 【考察】

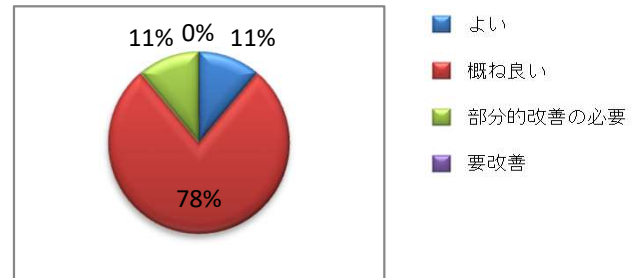
昨年度に比べて、「思う」と回答した児童が10ポイントほど増加した。コロナ禍の中にあって、「今できること」を模索しながら授業を構築した職員に、児童が応えた結果か。ただし、「思わない」と回答した児童も、わずかながら増加している。今後の課題といえる。

## 3 自尊心

(1) 先生や友達は、頑張っていることを褒めたり励ましたりしてくれますか。(児童)



(1) 子どもの努力を教師自らが認め、励ますと共に、子どもたち同士がそれぞれの努力を認め、励まし合える環境を作っていますか。(職員)

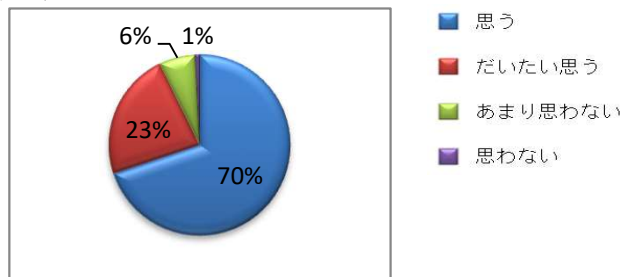


### 【考察】

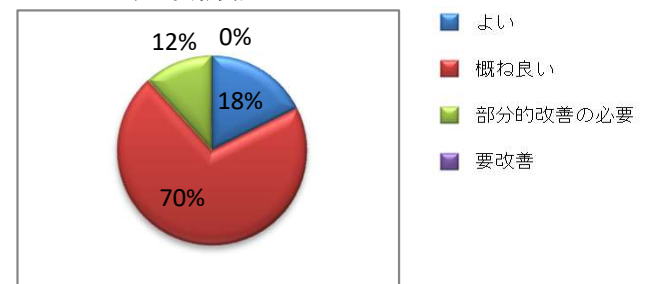
児童の回答は昨年度とほぼ同じである。多くの子が、自尊心や「認められている」という実感をもって学校生活を送っているようである。ただし、こちらも昨年度0だった「思わない」という子がわずかながらいる。

## 4 心と体

(1) 学習や運動で最後まで諦めずに取り組んでいますか。(児童)



(1) 学習や運動で、最後まであきらめずに取り組めるようにしていますか。(職員)

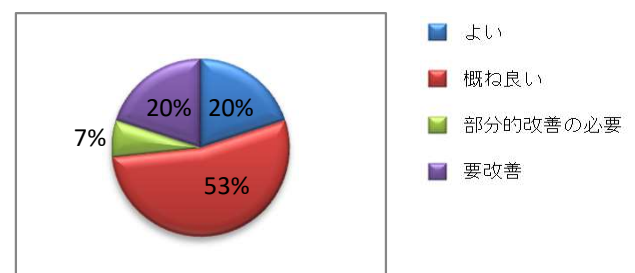


### 【考察】

昨年度に比べ、「思う」と回答した児童が10ポイント近く増加した。がんばっている意識がうかがえる。さらに意欲的に取り組めるよう、指導や助言に心がけたい。

## 5 地域との連携

(1) 地域講師の支援により、ふるさと体験学習を充実させていますか。(職員)



### 【考察】

コロナ禍のため、限定的ではあるが、米づくりや水泳指導等、地域の方の惜しみないご協力をいただきながら教育活動を進めている。一日も早いコロナの収束と、以前のような活動や学習の再開を願っている。